

平成27年度

事業報告書

自 平成27年4月 1日  
至 平成28年3月31日

公益財団法人 根津美術館

東京都港区南青山6丁目5番1号

# 目次

I 公益事業.....	3
【事業の趣旨】 .....	3
【施設の概要】 .....	3
【事業の概要】 .....	3
1. 展示活動.....	3
(1) 特別展・コレクション展.....	3
(2) 日本庭園 .....	5
(3) ミュージアムショップ .....	6
(4) 喫茶店.....	6
2. 美術品の収集、保管及び修復.....	6
(1) 美術品の購入.....	6
(2) 美術品の保管・修復.....	6
(3) 美術品の寄贈受入.....	7
(4) 美術品の寄託受入.....	7
3. 調査研究.....	7
(1) 調査・研究.....	7
(2) データベース .....	8
(3) 研究資料の整備 .....	8
(4) 学術プロジェクトへの参加.....	8
(5) 美術品の閲覧.....	9
4. 教育普及.....	11
(1) 催事.....	11
(2) その他の館内催事.....	14
(3) 館外催事 .....	14
(4) インターネットによる広報.....	14
(5) プレスリリース .....	14
(6) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット .....	15
(7) 内覧会・レセプション .....	15
(8) 施設案内パンフレット .....	15
(10) 地域との連携 .....	16
(11) 有料広告.....	16
(12) 根津倶楽部.....	17
(13) NEZUNET .....	17
(14) 青山茶会.....	17
(15) 美術品の館外貸出.....	17
(16) 画像の貸出.....	20
(17) 施設の貸与.....	20

II	収益事業.....	21
	【事業の概要】 .....	21
	1. 不動産事業.....	21
III	庶務の概要.....	22
	1. 役員.....	22
	2. 職員.....	24
	3. 役員会 .....	25
	(1) 理事会.....	25
	(2) 評議員会 .....	26
IV	事業報告の附属明細書 .....	27

# I 公益事業

## 【事業の趣旨】

昭和 15 年(1940) 11 月、初代根津嘉一郎(1860~1940)の遺志により財団法人を設立、翌年 10 月に開館した根津美術館は、美術品の展示及び教育・普及活動を行うことにより、多くの人々が日本・東洋古美術を鑑賞し、芸術・文化に関する理解を深めることを目的とした諸事業を展開している。

今年度もその理念に基づき、特別展 2 回と所蔵美術品によるコレクション展 6 回(前年度より開催した「救いとやすらぎのほとけー菩薩」展の 6 日間を含む)を開催し、展覧会に関連した講演会、会員向けプログラム、施設を利用した催事などを実施した。

所蔵美術品の調査研究を行い、その成果を館内外での発表や紀要や図録等の刊行物により公表し、館外の学術研究及び教育普及活動への協力などを行った。また、継続的な収集活動によってコレクションの充実を図り、修復などによる美術品の維持・管理に努めた。

## 【施設の概要】

平成 21 年 10 月に新創開館した本館は地上 2 階(展示室 1~6 など)、地下 1 階(講堂など)。平成 2 年に建設した展示施設を同 19 年に収蔵庫と事務室に改装した事務棟は地上 2 階、地下 1 階からなる。平成 21 年度地域新エネルギー等導入促進対策費補助金補助事業で導入した、本館 2 階屋根上の 252 枚のソーラーシステムパネルを引き続き運用し、資源エネルギーの活用にも努めている。

日本庭園には、薬師堂および茶室 4 棟があり、各所に石造物約 150 件が据えられている。庭園の豊かな樹木は港区の保護樹林に指定されている。

## 【事業の概要】

### 1. 展示活動

#### (1) 特別展・コレクション展

美術館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時までとし、月曜日と展示替期間及び年末年始を除く毎日開館した。なお尾形光琳 300 年忌記念特別展「燕子花と紅白梅ー光琳デザインの秘密ー」会期中の 5 月 12 日(火)より 5 月 17 日(日)までの開催日 6 日間は、午後 7 時まで開館時間を延長した。

入館料は、特別展の場合一般 1,200 円、学生 1,000 円、コレクション展では一般 1,000 円、学生 800 円とし、いずれも中学生以下は無料とした。20 名以上の団体、障害者手帳提示者と同伴 1 名及び運転経歴証明書提示者へは 1 名につき 200 円の割引を行い、また 100 円割引料金の次回展の前売券を美術館内で販売した。

平成 27 年度は、開館日数計 248 日間に、来館者 254,864 名(うち有料来館 233,388 名)を迎えた。

1 階展示室 1(場合により展示室 2、5 を含む)では、下記の 8 回の特別展及びコレクション展を開催し、同時に、展示室 2 あるいは 5 では、特別展・コレクション展の内容とのバランスをはかり、それと異なるあるいは連動するジャンルやテーマに基づくテーマ展示を、また展示室 6 では季節に合わせた茶道具の展示を下記のとおり行った。

また、ホール~展示室 3「仏教美術の魅力」では、展示室 3 に「春日若宮大般若経」(会期ごとに展示替え)と「春日厨子」を展示した。

展示室 4「古代中国の青銅器」は平成 25 年度より、展示作品の一部にテーマ性のある展示を行っ

ており、今年度は、前年度から展示していた「花文様の鏡」を引き続き展示した

特別展は当館の所蔵美術品のみならず館外から借用する美術品も含めて構成し、コレクション展は所蔵美術品を中心に、適宜特別出品、参考出品などの作品により構成した。いずれの展覧会も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となって、作品の選定、運搬、会場構成、展示、特別展図録、関連する所蔵品図録などの作成を行った。また、鑑賞しやすさを考慮した展示に努め、国内外からの来館者が理解しやすい日本語・英語表記の展示解説を付し、日本語の音声ガイドを備えた。

- ・コレクション展「救いとやすらぎのほとけ—菩薩」 展示室1・2  
平成27年3月7日(土)～4月6日(月) 当年度内の展示日数6日間  
同時開催「春日若宮大般若経・春日厨子」 展示室3 (以降、年度中同展示を継続)  
「北野天神縁起絵巻(根津本) I」 展示室5  
「暮春の茶」 展示室6  
入館者 4,046名(有料 3,344名)
- ・尾形光琳300年忌記念特別展「燕子花と紅白梅—光琳デザインの秘密—」 展示室1・2・5  
平成27年4月18日(土)～5月17日(日) 展示日数27日間  
同時開催「燕子花図屏風の茶」 展示室6  
入館者 105,569名(有料 100,084名)
- ・コレクション展「江戸のダンディズム—刀から印籠まで—」 展示室1  
平成27年5月30日(土)～7月20日(月・祝) 展示日数45日間  
同時開催「唐詩の書」 展示室2  
「北野天神縁起絵巻(根津本) II」 展示室5  
「季夏の茶の湯」 展示室6  
入館者 30,677名(有料 28,035名)
- ・コレクション展「絵の音を聴く—雨と風、鳥のさえずり、人の声—」 展示室1・2  
平成27年7月30日(木)～9月6日(日) 展示日数34日間  
同時開催「しつらえを楽しむ—福島静子のコレクション—」 展示室5  
「清秋を楽しむ茶」 展示室6  
入館者 21,253名(有料 18,657名)
- ・創立75周年記念特別展「根津青山の至宝—初代根津嘉一郎とコレクションの軌跡—」  
展示室1・2・5・6  
平成27年9月19日(土)～11月3日(火・祝) 展示日数41日間  
入館者 36,930名(有料 33,862名)
- ・コレクション展「物語をえがく—王朝文学からお伽草子まで—」  
平成27年11月14日(土)～12月23日(水・祝) 展示日数34日間  
同時開催「扇面歌意画卷」 展示室5  
「炉開きの茶会」 展示室6  
入館者 23,323名(有料 20,740名)
- ・コレクション展「松竹梅—新年を寿ぐ吉祥のデザイナー—」 展示室1・2  
平成27年1月9日(土)～2月14日(日) 展示日数32日間  
同時開催「華麗なる能装束」 展示室2  
「百椿図」 展示室5  
「初月の茶会」 展示室6  
入館者 16,321名(有料 14,062名)

- ・コレクション展「ほとけの教え、とこしえに。－仏教絵画名品展－」 展示室1・2
- 平成27年2月27日(土)～3月31日(木) 展示日数29日間
- 同時開催「旧竹田宮家のおひなさま」 展示室5
- 「春情の茶の湯」 展示室6
- 入館者 16,745名(有料 14,604名)

なお、展覧会開催中、以下のとおり国内外の要人を多数お迎えした。

- 平成27年4月24日 天皇皇后両陛下下行幸啓
- 平成27年5月1日 ヒッチェンス駐日英国大使夫人
- 平成27年7月2日 ドイツ参議院議長夫人
- 平成27年7月16日 舛添東京都知事
- 平成27年12月1日 マローン国連大学学長、ハッサン国連大学理事長以下理事会メンバー
- 平成27年12月20日 フォン・ヴェアテルン駐日ドイツ大使、  
ツィムブルグ駐日オーストリア大使
- 平成28年3月1日 フランス外務省高官、アン-マリー・デコート氏
- その他、カハノフ駐日イスラエル大使、イシカワ駐日ベネズエラ大使、駐日海外公館関係者など。

## (2) 日本庭園

17,000平米におよぶ日本庭園は、中央に湧水の池を配する変化に富んだ地形に喬木や灌木が茂り、池の周囲に建つ4棟の茶室や点在する約150件の石造物が風情を添える。四季に応じた自然の変化を楽しむことのできる庭園の存在は、当館の特色のひとつでもある。当年度は、①外周道路(薬師堂前から飛梅祠前)の砂利道をアスファルト舗装にする工事を実施した。②外周道路から閑中庵への露地を新設した。③外周道路(池の手前)から弘仁亭の間、約110mにわたり、車いすが通行できる石畳の散策路を完成させた。引き続き、来館者の安全を最優先した環境の整備に心がけ、生態系の維持管理に努めた。

平成25年10月より、毎月木曜日に1棟ずつ、一般来館者向けの茶室見学会を開催している。

### [平成27年]

4月2日(木)	斑鳩庵・清溪亭	39名
6月18日(木)	弘仁亭・無事庵	38名
7月9日(木)	閑中庵・牛部屋	18名
8月6日(木)	一樹庵・披錦斎	32名
9月3日(木)	斑鳩庵・清溪亭	23名
10月1日(木)	弘仁亭・無事庵	26名
11月26日(木)	一樹庵・披錦斎	60名
12月10日(木)	閑中庵・牛部屋	49名

### [平成28年]

1月21日(木)	斑鳩庵・清溪亭	74名
2月11日(木)	弘仁亭・無事庵	138名
3月17日(木)	閑中庵・牛部屋	40名
		計11回 537名

東京都建設局公園緑地部の呼びかけに応じ、「東京の日本庭園おもてなし協議会」に加盟2年目。定期会合を通じた意見交換などの活動に参加。昨年引き続き、茶室周辺の茶庭の開放とTwitterフォト

ギャラリーを実施。昨年を上回る投稿があり、楽しみ方として定着しつつあると感じた。今年は、紅葉が、12月半ばまで楽しめた。

### (3) ミュージアムショップ

ホールに隣接するミュージアムショップでは、当館の施設や所蔵美術品、開催の展覧会に関連した商品を取り揃え、来館者の多様なニーズに合った、また知的欲求に適う商品の販売活動を行った。

学術研究の成果に基づく図録や研究紀要などの書籍に加え、展覧会の内容を考慮した専門書・一般書籍を販売するとともに、出展作品の絵葉書やグリーティングカード類、また所蔵美術品をもとにデザイン性や適正な価格を考慮したオリジナル商品を企画・制作・販売した。さらに、適宜、季節や展覧会のテーマに合った委託商品を加えることでバリエーション豊かな商品構成とし、また効果的なディスプレイを工夫することにより、当館ならではのショップづくりを促進した。

当年度、新たに製作したオリジナル商品は7品目18種（買取商品20品目55種のうち）、委託商品は14社266種である。

引き続き山梨市の根津記念館「ミュージアムショップ平等」に商品および出版物の販売を、また東京国立博物館に加え、京都国立博物館・九州国立博物館のミュージアムショップに出版物の販売を委託し、さらに所蔵美術品の貸出先のミュージアムショップには、展覧会の会期中絵葉書などのオリジナル商品の販売を委託した。

### (4) 喫茶店

庭園内に設置された NEZUCAFÉ は、来館者の憩いや談話の場である。定番の商品に、季節に応じた新商品を適宜加えることでメニューに変化をつけ、魅力あるメニュー作りを行った。本年度は展覧会のテーマにちなんだ期間限定商品の開発を行い、話題性のある商品の販売促進に加え、従来要望の多かった抹茶と和菓子のセットメニューを追加した。また、特別展「燕子花と紅白梅」展の夜間開館期間中に、午後5時からシャンパンの販売を開始し、美術品の鑑賞と共に地の利を活かしたアフターファイブの新しい楽しみ方を提案した。食品や店内環境の衛生に万全を期すとともに、来館者の憩いや団らんの場として落ち着いた雰囲気の中で庭園の自然を眺める空間を維持し、リピーターやファン層の獲得に努めた。平成26年10月より開始したカフェでの抹茶販売については、特別展「燕子花と紅白梅」展期間中はカフェが混みあうため対応は難しいと判断し、地下講堂での抹茶サービスを行った。22日間で3,713名（1日平均168名）が利用した。また講堂には入館者の暑さ対策としてウォータークーラーと休憩用の椅子を設置した。

## 2. 美術品の収集、保管及び修復

### (1) 美術品の購入

本年度に、美術品の購入はなかった。

### (2) 美術品の保管・修復

所蔵美術品の保管を万全にするために、以下の作業を行った。

#### (展示施設)

- ① 展示施設内の虫害に対するモニタリング調査を、年間2回（6月5日～7月4日、10月3日～11月2日）実施して、施設環境の監視を行なった。
- ② 展示ケース内の除塵防黴作業を、年間2回（5月20日～5月26日、平成28年2月16日～2月19日）行った。

③ 開館7年経過にあたり、本館展示室の壁付ケースおよび独立ケースの総点検（5月19日～5月20日）を行った。

④ 展示ケース内に設置している温湿度データロガーの校正を行なった。

(収蔵施設)

① 収蔵庫のカビや虫害に対するモニタリング調査を、年間2回（6月5日～7月4日、10月3日～11月2日）実施し、収蔵環境の監視を継続した。

② モニタリング調査の結果をもとに、大規模清掃を平成28年1月20日～22日に実施した。

以下の所蔵美術品の修理を実施した。

① 本年度、補助修理作品はなかった。

② 自費修理および手入

仏本行集経 卷第三十三	1 卷	半田九清堂
仏涅槃図	1 幅	半田九清堂
阿弥陀三尊像（応急修理）	1 幅	半田九清堂
兜釜	1 口	長野烈氏
筋文釜	1 口	長野烈氏
信楽焼一重口水指 銘龍鱗	1 口	ますぶち工房
備前焼矢筈口水指 銘黙雷	1 口	ますぶち工房
オランダ水指	1 口	ますぶち工房
綴目水指	1 口	ますぶち工房
伊賀細水指（緊急修理）	1 口	ますぶち工房
螺鈿笛吹図香合	1 合	松本達弥氏
刀剣手入作業	168 口	本阿弥光洲氏

### (3) 美術品の寄贈受入

本年度、作品の寄贈はなかった。

### (4) 美術品の寄託受入

本年度、下記の美術品の寄託を受け入れた。

宋青磁碗	1 口	個人蔵
宋青磁皿	5 枚	個人蔵

## 3. 調査研究

### (1) 調査・研究

引き続き、所蔵美術品および展覧会に関わる調査・研究を行い、新たな知見を館内での講演会や館外での学会などで発表するとともに、研究成果にもとづく研究紀要、展覧会図録および所蔵品図録を出版した。

#### ① 紀要

『根津美術館紀要 此君 第7号 特集 柴田是真』

平成28年3月3日発行

800部

#### ② 展覧会図録

『燕子花と紅白梅－光琳デザインの秘密－』初刷

	平成 27 年 4 月 17 日発行	7,000 部
同上 2 刷	平成 27 年 5 月 14 日発行	3,000 部
『根津青山の至宝－初代根津嘉一郎コレクションの軌跡－』		
	平成 27 年 9 月 19 日発行	5,000 部
③ コレクション図録		
『扇面歌意画卷』	平成 27 年 11 月 13 日発行	3,000 部
『根津美術館蔵品選 書画編』第 2 刷	平成 27 年 12 月 23 日発行	2,000 部
『根津美術館蔵品選 仏教美術編』第 2 刷		
	平成 27 年 12 月 23 日発行	1,200 部
『百椿図』第 4 刷	平成 28 年 3 月 10 日発行	2,000 部
『琳派コレクション』第 3 刷	平成 28 年 3 月 10 日発行	3,000 部

## (2) データベース

平成 21 年度に基本システムが完成した当館の収蔵品データベースについて、データの入力・更新、デジタル画像の登録、ならびにシステムの改善を行った。

- ① 引き続き、展示履歴および作品解説の入力作業を行った。また、やはり前年に引き続き、画像の閲覧性を高めるべく、画像の配列を改良した。
- ② 既存ポジフィルムおよび新規撮影したポジフィルムの高精細デジタル化と登録を、引き続き行った。デジタル化は、当年度 226 枚を行った。

## (3) 研究資料の整備

美術品の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入・収集・整理を行った。

- ① 昨年度に引き続き、図書の受入や収蔵図書データベースの整備や修正を行うことで、図書管理体制の充実化を図った。アルバイト 2 名を雇用し、購入・受贈図書の新規受け入れの他、一般図書 0 類～9 類までの曝書（蔵書点検）とデータ入力を完了し、データの見直し及び修正を 0 類～6 類まで終了した。また、研究紀要・報告書と雑誌の分類見直しを完了した。
- ② 本年度に刊行した図録および紀要を、国内 241、海外 108 機関に贈呈し、また美術館・博物館など 250 機関の学術刊行物、および当館作品掲載図書など 1070 冊を受贈した。
- ③ 展覧会の開催や当館所蔵品の研究のため、168 冊の図書・雑誌を購入した。

## (4) 学術プロジェクトへの参加

- ・平成 27 年 1 月に開催した展覧会「動物礼讃」を機会に実施した、大英博物館および根津美術館所蔵「双羊尊」の学術的調査で得た新知見について、大英博物館、泉屋博古館、富山大学、関西学院大学、東京国立博物館の研究者および技術者により検討を重ねた。その成果は、平成 28 年度の当館紀要に収載される。
- ・当館学芸員(白原由起子)は、平成 25～27 年度の日本学術振興会科学研究費基盤研究 (C)「高麗仏画の素材と技法に関する総合研究」(研究代表者 実方葉子)の、平成 27 年度研究分担者として参画し、当館および他館の所蔵作品の調査・研究を行った。その成果は、平成 29 年 3 月に当館で開催する特別展に役立てられる。
- ・平成 27 年 9 月には、根津美術館と説話文学会の共催により、当館が所蔵する「春日若宮大般若経および春日厨子」に関する学術シンポジウムを当館にて開催し、東京大学史料編纂所、筑波大学の研究者とともに当館学芸員(松原茂・白原由起子)が研究成果を発表し、100 名を越す聴講者が参集した。本シンポジウムの内容は、説話文学会の学会誌で報告される(平成 28 年 5 月刊行予

定)。

- ・また国際仏教学大学院大学の研究者チームは「春日若宮大般若経」の本格的調査・計測のプロジェクトを企画し、当館学芸員(松原茂・白原由起子)の協力のもと、平成28年3月より作業が始められた。同大学刊行の報告書は平成29年3月刊行の予定である。

- ・館外の研究・教育機関が行う各種学術プロジェクトや学会に、下記の通り、当館学芸員が参加、あるいは出講し、国内外の研究者や研究機関とその成果を共有した。

松原茂 特別展「まぼろしの久能寺経に会おう」公開講座

白原由起子 国際シンポジウム「The Global Reception of Heinrich Wölfflin's Principles of Art History」

国際シンポジウム「海外における日本美術コレクションの意義とその活用」

野口剛 京都府京もの文化イノベーション研究会

現代美術センターCCA 北九州 市民美術大学

多比羅菜美子 国立歴史民俗博物館共同研究

国立歴史民俗博物館企画展『URUSHI』会議

- ・文部科学省および各教育委員会の要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の指定、保存、国家補償に関わる会議に委員として参画した。

西田宏子 文化庁ものづくり日本大賞 分野選考委員会

佐賀県文化財保護審議会

松原茂 文化庁登録美術品調査研究協力者会議

文化庁登録美術品評価会議

文化庁文化財買取評価

白原由起子 文化庁審議会美術品保障制度部会・専門調査会

文部科学省博物館学芸員専門講座

- ・国際交流基金および日本博物館協会、ICOM 国際委員会の要請を受け、下記の通り、当館学芸員が、国際会議やシンポジウムの発表者として参加した。

白原由起子 カルコン美術対話委員会テレビ会議

ICOM-COMCOL 年次大会 (韓国)

カルコン美術対話委員会及び公開フォーラム

- ・独立行政法人および公私立の博物館・美術館の要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の購入・修理、館の運営などに関わる会議に委員として参画した。

松原茂 宮内庁三の丸尚三館作品修理指導

国立文化財機構契約監視委員会

九州国立博物館買取評価

東京国立博物館寄贈文化財価格評価

東京国立博物館有形文化財買取協議会

千葉市美術館美術品等収集審査会

三の丸尚蔵館運営懇談会

多比羅菜美子 東京国立博物館購入候補文化財価格評価

#### (5) 美術品の閲覧

所蔵美術品の閲覧申請を受け、研究の目的や学術的成果が期待でき、且つ作品が安全な状態であることを確認のうえ、以下38件の研究に協力した。

閲覧日	所属	閲覧作品
[平成27年]		
4月25日	京都造形芸術大学大学院 (2名)	螺鈿楼閣人物文箱、他3件
5月8日	当館監事 (1名)	黄瀬戸宝珠香合
5月9・16日	竹楽会 (2名)	利休二重切竹花入、他21件
5月15日	同志社大学 (1名)	蒔絵開扇文香合
6月5日	目白漆芸文化財研究所 (1名)	夕顔蒔絵板戸、他1件
6月10日	愛知県立芸術大学 (3名)	重要文化財 春日補蛇落山曼荼羅
6月25日	東京大学 (2名)	重要文化財 大乘掌珍論卷上残卷
7月7日	ロンドン大学 (1名)	日吉山王曼荼羅 (厨子)、他2件
7月11日	白鶴美術館 (1名)	四神十二支文鏡、他16件
8月9日	(株)嘉門工藝 (4名)	色絵漆塗茶入
8月18日	大谷大学 (1名)	重要美術品隅寺心経、他1件
8月18日	東京国立博物館 (6名)、他3名	伊勢物語図、他1件
8月28日	大正大学 (1名)、他1名	梵釈四天王鈴
8月30日	北京故宫博物院 (1名)、他3名	螺鈿楼閣人物文箱、他11件
9月12日	筑波大学 (1名)、他1名	春日若宮大般若経
9月15日	シカゴ大学 (3名)	菩薩像頭部、他6件
9月21日	コロンビア大学 (1名)	国宝 漁村夕照図
9月25日	恵泉女学園大学 (1名)	源氏物語画帖、他2件
11月6日	奈良国立博物館 (1名)	大般若経 卷第四百残卷
11月13～15日	泉屋博古館 (2名)、他2名	重要文化財 阿弥陀如来像、他7件
11月15日	京都造形芸術大学 (1名)、他3名	彫彩漆屈輪文盆、他3件
11月19日	京都国立博物館 (1名)、他1名	山水図団扇、他2件
11月20日	国際仏教学大学院大学 (3名)	重要文化財 註楞伽経卷第七、他1件
12月2日	花園大学 (1名)	重要文化財 宗峰妙超墨蹟
12月10日	一柳堂 (2名)、他1名	重要文化財 花白河蒔絵硯箱
12月12日	学習院大学 (2名)	古天明十王口釜、他3件
12月16日	泉屋博古館 (1名)	妙法蓮華経、他3件
12月17日	愛知県立芸術大学 (4名)	重要文化財 春日補蛇落山曼荼羅
12月19日	白鶴美術館 (1名)	方格規矩四神鏡、他20件
[平成28年]		
1月15日	東国大学校 (1名)	青銅象嵌鍍金梵字宝相華文香炉
1月27日	名古屋市博物館 (1名)	近江伊勢名所図屏風
2月10日	福井県立美術館 (1名)	重要美術品 職人尽図
2月16日	奈良国立博物館 (5名)	春日厨子
3月17日	大阪芸術大学 (1名)、他6名	源氏物語図屏風、他4件
2月23日	学習院大学 (1名)、他3名	花鳥図、他4件
3月10日	国際仏教学大学院大学 (5名)、他2名	春日若宮大般若経、他1件
3月25日	東方漆芸文化研究所 (1名)、他1名	螺鈿楼閣人物文箱、他4件
3月30日	慶應義塾大学 (2名)	鍾離権鶴鷺図、他1件
	計38件	閲覧者97名
		作品総数165件

#### 4. 教育普及

##### (1) 催事

引き続き、各展覧会に関連して、館内外の講師による講演会を講堂で開催した（参加費無料、定員130名）。また、担当学芸員が、講堂にてスライド・レクチャー、展示室にてギャラリートークを、随時実施した。

[平成27年]

- ・尾形光琳300年忌記念特別展「燕子花と紅白梅 ―光琳デザインの秘密―」

講演会：4月19日（日）

MOA美術館 館長 内田篤呉氏「光琳アート&デザイン」

聴講 126名

シンポジウム：5月3日（日）

「光琳デザインの秘密」 講堂聴講 102名 ラウンジ 27名 計 129名

パネリスト 東京文化財研究所 主任研究員 江村知子氏

大和文華館 学芸部長 中部義隆氏

コロンビア大学 教授 マシュー・マッケルウェイ氏

司会 当館 学芸第二課長 野口 剛

モーニング・レクチャー：4月21日（火） 野口 剛

聴講 152名

4月28日（火） 同上

聴講 166名

イブニング・レクチャー：5月12日（火） 同上 一回目聴講 154名 二回目 65名 計 219名

- ・コレクション展「江戸のダンディズム ―刀から印籠まで―」

講演会1：6月6日（土）

佐野美術館 館長 渡邊妙子氏「江戸時代の刀剣について」

聴講 124名

講演会2：6月27日（土）

講師 高山一之氏「日本刀の拵について」

聴講 123名

スライドレクチャー：6月12日（金）

アフリカンアートミュージアム 館長 伊藤 満氏

「刀装具について」

聴講 58名

6月19日（金）

当館 学芸員 多比羅菜美子

「コレクションの成り立ちと展覧会の見所」

聴講 44名

7月3日（金）

当館 学芸部長 松原 茂

「北野天神縁起絵巻について（巻第四～六）」

聴講 75名

- ・コレクション展「絵の音を聴く」

講演会：8月22日（土）

当館 学芸部長 松原 茂「絵の音を聴く」

聴講 115名

スライドレクチャー：7月31日（金）

当館 学芸部長 松原 茂「絵の音を聴く」

聴講 61名

8月14日（金）

同上

聴講 125名

8月28日（金）

当館 学芸員 多比羅菜美子「しつらえを楽しむ」

聴講 61名

- ・財団創立75周年記念特別展「根津青山の至宝」

- 講演会1：9月26日（土）  
 当館 顧問 西田宏子「根津嘉一郎 コレクターから茶人へ」 聴講 97名
- 講演会2：10月24日（土）  
 山梨大学 名誉教授 齋藤康彦氏「根津青山の茶友たち」 聴講 87名
- スライドレクチャー：10月2日（金）  
 当館 学芸部長 松原 茂「古経同好会」 聴講 43名
- 10月16日（金）  
 当館 学芸員 下村奈穂子「永久決別の茶会」 聴講 114名
- ・コレクション展「物語をえがく ―王朝文学からお伽草子まで―」
- 講演会：11月21日（土）  
 恵泉女学園大学 教授 稲本 万里子氏  
 「源氏絵の系譜 ―平安時代の絵巻から江戸時代の屏風、画帖、絵巻まで―」 聴講 79名
- スライドレクチャー：11月20日（金）  
 当館 学芸第二課長 野口 剛「物語をえがく」 聴講 61名
- 11月25日（水）  
 同上 聴講 54名
- 12月4日（金）  
 当館 学芸部長 松原 茂「扇面歌意画卷」 聴講 80名
- 12月11日（金）  
 当館 学芸第二課長 野口 剛「物語をえがく」 聴講 84名
- [平成28年]
- ・コレクション展「松竹梅 ―新年を寿ぐ吉祥のデザイナー―」
- 講演会：1月30日（日）  
 当館 学芸部長 松原 茂「松竹梅の美術」 聴講 70名
- スライドレクチャー：1月15日（金）  
 当館 学芸第二課長 野口 剛「百椿図」 聴講 49名
- 1月22日（金）  
 当館 学芸部長 松原 茂「松竹梅の美術」 聴講 56名
- ・コレクション展「ほとけの教え、とこしえに。 ―仏教絵画名品展―」
- 講演会：3月19日（土）  
 東北大学大学院 教授 泉 武夫氏「浄土と救済のかたち」 聴講 84名
- スライドレクチャー：3月5日（土）  
 当館 特別学芸員 白原 由起子「釈迦のすがた」 聴講 72名
- 3月26日（土）  
 当館 特別学芸員 白原 由起子「羅漢の美術」 聴講 85名

加えて、本年度は、有料の特別企画として以下の催事を講堂で実施した。

- ・コレクション展「江戸のダンディズム」展  
 特別催事「はじめての刀剣鑑賞 マナーを学んで刀を持ってみよう」  
 6月20日（土）  
 講師：飯田慶雄氏（日本刀文化啓蒙団体「鉄芸」代表・飯田高遠堂取締役）  
 定員40名 参加費 2,000円（中学生以上）

申込者 40 名、当日参加者 52 名  
特別催事「はじめての刀装具鑑賞 魚々子を打ってみよう」 7月4日(土)  
講師：泉公士郎氏(日本刀文化振興会 刀装具研究委員会委員)  
定員：50名 参加費 1,000円(中学生以上)  
申込者：50名、当日参加者 50名

・コレクション展「絵の音を聴く」

特別企画「茶杓をつくろう」

：8月1日(土) 講師：池田泰輔氏(竹楽会講師・竹芸家)  
定員 40名 参加費 8,000円(18歳以上)  
申し込み者 40名、当日参加者 39名

茶室での催事として、本年度も引き続き、秋・春季恒例の、茶道初心者を対象とした「はじめての茶席」を開催した。

・「はじめての茶席―秋を楽しむ茶席―」

平成27年11月19日(木) 於：披錦齋  
定員 100名(20名×5席) 参加費 2,000円

参加者 95名

・「はじめての茶席―花まつりを祝う―」

平成28年3月24日(木) 於：披錦齋  
定員 100名(20名×5席) 参加費 2,000円

参加者 92名

\*いずれも前売り参加券は完売。

また本年度は、展覧会に関連する特別企画として、以下の催事を茶室で行った。

・「根津嘉一郎の茶席―燕子花の茶会にちなんで―」

平成27年5月14日(木) 於：披錦齋  
定員 75名(15名×5席) 参加費 10,000円

参加者 75名

・「根津嘉一郎の茶席―大津馬図披露茶会にちなんで―」

平成27年10月23日(木) 於：披錦齋  
定員 90名(15名×6席) 参加費 18,000円

参加者 76名

・「現代茶人の茶席」根津青山にちなみ、現在著名な実業家であり、また茶人としても活躍している4名の方々にそれぞれの趣向で茶席をもっていただいた。

平成27年9月23日(水・祝) 大林 剛郎氏(株大林組 代表取締役会長)

平成27年10月2日(金) 後藤 康雄氏(はごろもフーズ(株) 代表取締役会長)

平成27年10月20日(火) 潮田 洋一郎氏(株LIXILグループ 取締役会長)

平成27年10月31日(土) デービッド・アトキンソン氏(株小西美術工藝社 代表取締役社長)

4回とも於：披錦齋

各日定員 100名(20名×5席) 参加費 5,000円

総参加者 392名

そのほか、「燕子花と紅白梅」展期間中の夜間開館時の集客を目的とし、昨年につき「夜間開館特別イベント」を開催。入館者を対象として5月16日午後6時から、能楽師 観世鍔之丞師による仕舞「杜若」の無料公演を1階ホールで行った。立ち見を含め200名以上の観客から好評を得、夜間開館の認知向上にもつながった。また、日本の伝統行事を楽しんでいただく来館者サービスとして、6月23日～7月7日の期間、本館庭園口の軒下に七夕飾りとして3本の竹を備え付け、来館者が短

冊に願いごとを書いて吊るすイベントを行った（参加無料）。約 200 枚を超える願い事を受け、後日金王八幡神社に奉納した。

#### （2）その他の館内催事

①平成 27 年 10 月 29 日（木）、世界文化社刊家庭画報 10 月号で取材協力した特集記事「根津嘉一郎、最期の名茶会再現」にちなむ特別茶会を世界文化社からの依頼により開催。応募・抽選により選ばれた合計家庭画報定期購読者合計 30 名が参加。（於：披錦齋）

②宇田川宗光氏の東京宗和会・会長就任に際し、その披露茶会での添え釜の要請があり、平成 27 年 11 月 27 日（金）、28 日（土）の 2 日間、薄茶席を担当した。（於：披錦齋）

#### （3）館外催事

尾形光琳 300 年忌特別展で特別協力をいただいたMOA美術館からの要請により、平成 27 年 6 月 2 日（月）、3 日（火）の 2 日間、京都嵯峨野・広沢池畔の「平安郷」での同館主催光琳乾山忌茶会濃茶席を担当した。道具とともに学芸部、管理部より職員を派遣した。

#### （4）インターネットによる広報

展覧会や各種の催事、施設などの情報発信窓口である当館ウェブサイト（<http://www.nezu-muse.or.jp>）は、従来英語版の情報量が少ないことが課題となっていた。今年度は日本語版の定期更新とともに、英語版を日本語版と同内容まで拡充する大きなリニューアルを実行。年間の閲覧回数は 1,180,956 アクセス（月平均 98,413 アクセス）、ユーザー数は 732,553 名（月平均 61,046 名）を数える。

ウェブサイトに加えて情報発信ツールとして定着した感のある Facebook は、今期も常用ユーザー数を順調に伸ばし、期初の約 8,000 名から、約 14,000 名に増加した。Twitter でのフォロワー数も期初の約 6,000 名から約 9,000 名を超えた。3 月末には、昨年と同様に Twitter 社の呼びかけに応じ、全世界の美術館・博物館が日替わりのテーマに沿って情報発信を行う「ミュージアムウィーク」イベントに参加。2 回目の今年はユーザーの認知度も上がったのか、当館投稿のリツイートは昨年よりおおむね倍増となり、関心の高さがうかがえた。

平成 23 年度から開始した Web アプリ「根津美術館」（<http://www.nezu-muse.app.jp>）は PC 以外の情報端末ユーザーに対する情報提供チャネルとして活用されてきた。しかしながら、携帯端末の OS 更新に追随するための改変が頻繁でコスト面で負担が大きいこと、昨年度実施したウェブサイトのリニューアルにより、スマートフォンやタブレット端末ユーザーも PC と同等の情報にアクセスできるようになってきたことから、サービスを終了することとした。3 か月前からの告知を経て、特に大きな混乱やクレームもなく、2015 年 12 月末をもってサービスを終了。今後は、ウェブサイトインターネット上の情報発信のハブと位置づけ、ギャラリー機能や、日本語・英語同タイミングでの情報発信、さらに、携帯端末でのアクセシビリティ向上に注力していく。

#### （5）プレスリリース

美術館や展覧会の情報を、各種メディアに告知するプレスリリースを発信し、各展覧会の開催時期に合わせた各種パブリシティへの掲載、雑誌での特集記事やテレビ番組への協力を促進した。特に、展覧会ごとのポスター・チラシのデザインをプレスリリースにも使用して、展覧会のコンセプトを一貫したイメージで訴求できるようあらため、それに伴う制作スケジュールの管理・運用を定着させた。また同時に、ミュージアムショップやカフェの新商品などの告知リリースも配信し、多様なメディアに掲載されることを促し、それによる美術館・展覧会の認知度向上に引き続き努めた。さらに国内の

みならず、海外の各種メディアからの問い合わせに対して情報を提供し、ニーズに合った対応に努めた。

#### (6) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット

引き続き、館外3か所に開催中の展覧会ポスターを掲示。館内には次回展のポスターとチラシや、年間スケジュール、根津倶楽部パンフレットを常備し、美術館および展覧会の認知度アップに努めた。英語版の館内配布用展示目録パンフレットならびに英語版チラシの作成・配布を引き続き行った。今年度も、各展覧会の開催時期に合わせ、近隣の商店や公共施設、文化教育施設、美術館、博物館、古美術商などに展覧会のポスターやチラシを配布し、各展覧会の内容に即した特定団体への情報提供を行うなど、きめ細かな誘客活動を行い、さらに、外国人集客に力を入れている東京都や観光庁の旅行案内所、都内主要ホテルへのチラシの定期提供ルートも開拓した。

#### (7) 内覧会・レセプション

展覧会の開催日前日（年度内7回）に、各種メディア向けの記者内覧会を実施して、展覧会の担当学芸員による展示解説を行い、メディアによる宣伝活動の促進を目指した。この記者内覧会に加え、特別展2回に際しては、美術関係の招待客を対象に特別内覧会及びレセプションも実施し、業界関係者や教育者などを通じての宣伝や誘客を図った。

##### ・特別展「燕子花と藤花ー光琳デザインの秘密ー」

平成27年4月17日（金）	記者内覧会	出席者	129名
	特別内覧会		584名

##### ・コレクション展「江戸のダンディズムー刀から印籠までー」

平成27年5月29日（金）	記者内覧会	出席者	36名
---------------	-------	-----	-----

##### ・コレクション展「絵の音を聞くー雨と風、鳥のさえずり、人の声ー」

平成27年7月29日（金）	記者内覧会	出席者	37名
---------------	-------	-----	-----

##### ・創立75周年記念特別展「根津青山の至宝ー初代根津嘉一郎コレクションの軌跡ー」

平成27年9月18日（金）	記者内覧会	出席者	35名
	特別内覧会		454名

##### ・コレクション展「物語をえがくー王朝文学からお伽草子までー」

平成27年11月13日（金）	記者内覧会	出席者	30名
----------------	-------	-----	-----

##### ・コレクション展「松竹梅ー新年を寿ぐ吉祥のデザイナーー」

平成28年1月8日（金）	記者内覧会	出席者	39名
--------------	-------	-----	-----

##### ・コレクション展「ほとけの教え、とこしえに。ー仏教絵画名品展ー」

平成28年2月26日（金）	記者内覧会	出席者	32名
---------------	-------	-----	-----

#### (8) 施設案内パンフレット

2009年の新創開館以来館内に常備してきた施設案内のパンフレット（日本語・英語・仏語・中国語・韓国語）は、6年を経て情報の更新が必要となったためこれを一新。情報の更新にとどまらず、従来の「新しい建物」の紹介を主眼とした内容から、新撮した庭園の画像や展示室内の画像を使用して「何が体験できる場所なのか」をアピールする内容に改めた。日本語・英語以外の言語版の制作にあたっては、東京都の観光促進事業主体である東京観光財団が新設した、「美術館・博物館等の観光施設の国際化支援補助金」に申請を行い、費用の半額の補助を受けることが決定している。

#### (9) 他美術館との協力

- ・特別展「根津青山の至宝－初代根津嘉一郎コレクションの軌跡－」(9/19-11/)の会期中、三井記念美術館、五島美術館との共同企画として「秋の三館 美をめぐる」キャンペーンを実施した。これは、他館がキャンペーン対象とする秋季の展覧会の入館券の半分を持参した来館者の入館料の100円割引、さらに3館の対象展覧会の入館済み半券を持参した来館者をいずれか1館の次回展に無料招待するもので、2013年度より実施している。展覧会が集中する秋季での各館への誘客強化とともに、当館次回展への認知と誘客を狙うもので、このキャンペーンによる割引を利用した入館者は510名(総入館者数の1%)、「物語をえがく」展への来館者は219名であった。
- ・引き続き、美術館関連団体に加入することで、他の美術館との情報交換を推進し、美術館業界の活性化に努めた。

#### (10) 地域との連携

- ・港区内の美術館として、本年度も、同区が年2回発行する広報誌『港区ミュージアムネットワーク』に展覧会情報を掲載し、読者への招待券プレゼント企画に協力した。
- ・港区が三田図書館で開催する「港区ミュージアムセミナー」の一環として、10月に「根津青山の至宝－初代根津嘉一郎コレクションの軌跡」展にちなんだ講演を、担当学芸員が行った。
- ・毎年10月に開催され、当館も参加している港区主催の「みなと区民まつり」では、記念バッジ購入者向け特典として区内施設が入館料割引を実施した。
- ・昨年に続き港区保健福祉支援部高齢者支援主催の65歳以上の高齢者向けイベント「ゆうゆうミュージアム巡り」で、11月紅葉の見ごろの時期に合わせ、20名の参加者を迎え、担当学芸員より「物語をえがく－王朝文学からお伽草子まで－」展の見どころを解説した。
- ・例年2月に行われる港区主催「ミナコレ冬」イベントでは、今年度は港区が美術館巡りのツアーバスを企画・実施に協力した。「新年を寿ぐ吉祥のデザイナー」展に19名が来館し、担当学芸員より展覧会の見どころを解説した。
- ・展覧会のポスターやチラシを館員が持参して近隣商店や団体に届けることにより、緊密な関係構築に努めた。
- ・近隣の港区立青南小学校3年生の「総合」学習の一環として、近隣施設見学授業への協力要請があり、6月「江戸のダンディズム」展見学に見童26名、引率教員1名を受け入れた。10月にはその成果発表会に招待され職員が参加した。

#### (11) 有料広告

- ・「燕子花と紅白梅」、「根津青山の至宝」の2特別展への誘客のため、朝日新聞朝刊、日本経済新聞夕刊、読売新聞夕刊にクーポン広告(100円割引券付)を掲出した。各展での掲出状況と利用者集計は以下の通り：

「燕子花と紅白梅」	計 4,862	(朝日・読売) (4%)
「根津青山の至宝」	計 1,355	(朝日・日経) (3%)

注：日経新聞、読売新聞への出稿は、朝日新聞に出稿することで得られる特典。

- ・また本年度は、従来特別展のみであった地下鉄・表参道駅のポスター(チラシ配布用ポケット付)掲示を、すべての展覧会において2週間ずつ実施した。これを通じ、駅利用者に毎回200枚程度のチラシを配布することができた。

#### (12) 根津倶楽部

「根津倶楽部」は、固定客層の獲得を目的として、2009年に開始した会員組織であり、平成24年7月より新たな制度に移行し、入会金3,000円、年会費8,000円で展覧会ごとの案内葉書と1名の招待券を送付し、会員証の提示で入館料無料、ミュージアムショップの1割引（一部商品を除く）の特典を提供している。平成27年度は会員が75名増加し、年度末の会員数は510名となった。

#### (13) NEZUNET

根津美術館の会員制メールマガジン「NEZUNET」（会費無料）は、新創開館以来会員数が増え続け、平成27年度は会員が391名増加し、年度末現在の会員数は4,791名となった。当年度は7回メールマガジンを配信した。

#### (14) 青山茶会

「青山茶会」は、茶道にある程度習熟した人々を対象に、茶道美術への理解と普及、および当館のファンやリピーターを増すことを目的として、2年間10万円の会費で、各年4回の茶会と4回の講座への参加及び入館料無料の特典を提供する会員制度である。昨年度平成26年度からの第三期会員172名が在籍しており、以下の講座と茶会を開催した。

##### [平成27年]

第五回講座	4月25日（土） 講師：有馬頼底氏「禅と茶の湯」	参加者 112名
第五回茶会	6月13日（土） 席主：表千家同門会東京都連合支部	参加者 159名
第六回講座	7月11日（土） 講師：池田瓢阿氏「竹・籠の花入」	参加者 114名
第七回講座	9月19日（土） 講師：中村利則氏「茶室について」	参加者 109名
第六回茶会	10月10日（土） 席主：武者小路千家 家元 千宗守氏	参加者 181名
第七回茶会	12月5日（土） 席主：遠州茶道宗家 家元 小堀宗実氏	参加者 175名

##### [平成28年]

第八回講座	1月23日（土） 講師：中村修也氏「わびと数寄」	参加者 89名
第八回茶会	3月12日（土） 席主：藪内流 家元 藪内紹智氏	参加者 168名

#### (15) 美術品の館外貸出

以下の展覧会および茶会に、所蔵美術品の館外貸出を行った。

- ・「Ink and Gold: Art of the Kano」展 2015年2月12日（木）～5月10日（日）  
Philadelphia Museum of Art 両帝図 狩野探幽筆 6曲1双  
西王母図 清原雪信筆 1幅
- ・「津久井光明寺 知られざる夢窓疎石ゆかりの禅院—2つの宝積寺を訪ねて」展  
2015年2月19日（木）～4月19日（日）

神奈川県立金沢文庫	披錦斎図 宗甫紹鏡ほか賛	1 幅
	重要文化財 月江正印墨蹟 偈	1 幅
・「没後四〇〇年 古田織部 一慶長の天下一茶の湯名人」展		
2015年3月2日(月)～4月12日(日)		
奥田元宋・小由女美術館	薩摩文琳茶入 銘 亀尾	1 口
・「黄金時代の茶道具 17世紀の唐物」展	2015年4月4日(土)～6月28日(日)	
大阪市立東洋陶磁美術館	重要文化財 青井戸茶碗 銘 柴田	1 口
	重要文化財 雨漏茶碗	1 口
	重要美術品 井戸香炉 銘 此の世	1 口
	青磁象嵌花文香炉 銘 老女	1 口
	狂言袴茶碗 銘 ひき木	1 口
	珠光青磁茶碗 銘 遅桜	1 口
	祥瑞蜜柑水指	1 口
・「伊藤若冲と琳派の世界」展	2015年4月4日(土)～5月28日(火)	
相国寺承天閣美術館	赤楽茶碗 銘 緋緘 本阿弥光悦作	1 口
	加賀光悦写赤楽茶碗 楽左入作	1 口
・「鳥獣戯画 一京都高山寺の至宝一」展	2015年4月28日(土)～6月7日(日)	
東京国立博物館	重要文化財 華嚴五十五所絵	4 面
	太元帥明王・四天王図像	1 卷
	重要美術品 毘沙門天図像	1 幅
・「着想のマエストロ 乾山見参！」展	2015年5月27日(土)～7月20日(日)	
サントリー美術館	銹絵独釣図角皿 尾形乾山作	1 枚
	銹絵山水文角皿 尾形乾山作	1 枚
	銹絵蘭図角皿 尾形乾山作	1 枚
	銹絵楼閣山水図茶碗 尾形乾山作	1 口
・「光琳乾山忌茶会」	2015年6月2日(火)～3日(水)	
MOA美術館 於 京都 平安京 中の茶屋		
	隅田川図 酒井抱一作	1 幅
	堆黒屈輪文香合	1 合
	鳥獣唐草文金馬炭斗	1 口
	青鸞羽箒	1 本
	銀象眼火箸 徳元作	1 対
	鑑 明珍在銘	1 組
	籐組釜敷	1 枚
	灰器 本阿弥空中作	1 口
	赤銅灰匙	1 本
	重要文化財 月江正印墨蹟 警策	1 幅
	古銅柑子口花入	1 口
	雲龍釜	1 口
	土風炉 松木宗四郎作	1 口
	安南蓮弁文水指	1 口
	瀬戸二見手茶入 銘 即色	1 口
	小井戸茶碗 銘 忘水	1 口

	茶杓 共筒 千利休作 銘 浮橋	1 本
	砂張棒先建水	1 口
	鷲図 海北友松筆	1 幅
	鷲図真形釜	1 口
	唐銅切合風炉 大西浄林作	1 口
	青磁浮牡丹文水指	1 口
・「白鳳 —花ひらく仏教美術—」展	2015 年 7 月 18 日 (土) ~9 月 23 日 (水・祝)	
奈良国立博物館	光背 [奈良時代・齊明天皇四年 (658)]	1 枚
・「富士山 —信仰と芸術—」展	2015 年 9 月 5 日 (土) ~10 月 12 日 (月・祝)	
静岡県立美術館	聖徳太子絵伝 第 3 幅	1 幅
・「破格——桃山備前——」展	2015 年 9 月 18 日 (金) ~11 月 8 日 (日)	
岡山県立博物館	備前茶入 銘 面壁	1 口
・「信楽への眼差し」展	2015 年 10 月 4 日 (日) ~12 月 13 日 (日)	
滋賀県立陶芸の森陶芸館	信楽茶碗 銘 水の子	1 口
	信楽播座瓢形水指 銘 大出来	1 口
・「信州の祈りと美 —善光寺から白隠、春草まで—」	2015 年 10 月 10 日 (土) ~11 月 8 日 (日)	
飯田市美術博物館	重要文化財 善光寺如来縁起絵	3 幅
・「蘇州の見る夢 —明・清時代の都市と絵画—」展		
	2015 年 10 月 10 日 (土) ~11 月 15 日 (日)	
大和文華館	朝陽舞鳳図 夏昶筆	1 幅
	山水図 鈕貞筆	1 幅
・「琳派 京を彩る」展	2015 年 10 月 10 日 (土) ~11 月 23 日 (月・祝)	
京都国立博物館	夏草図屏風 尾形光琳筆	2 曲 1 双
	夏秋溪流図屏風 鈴木其一筆	6 曲 1 双
・「久隅守景 親しきものへのまなざし」展	2015 年 10 月 10 日 (土) ~11 月 29 日 (火)	
サントリー美術館	舞楽図 久隅守景筆	6 曲 1 双
	西王母図 清原雪信筆	1 幅
・「根津嘉一郎の茶席—大津馬図披露茶会にちなんで—」	2015 年 10 月 29 日 (木)	
家庭画報サロン	大津馬図 松花堂昭乗筆 沢庵宗彭賛	1 幅
	南蛮縄簾花入	1 口
	鉄やつれ風炉	1 口
	伊賀細水指	1 口
	瀬戸玉柏手茶入 銘 村雨	1 口
	中棗 秀次策	1 合
	織部茶杓	1 本
	重要文化財 堅手茶碗 銘 長崎	1 口
・「宇田川宗光氏 寒鴉齋齋号授興・東京宗和会々長就任披露茶會」		
	2015 年 11 月 27 日 (金) 28 日 (土)	
宇田川宗光氏 於 根津美術館 庭園内茶室 (披錦齋)		
	岩上観音図 甫雪等禅筆	1 幅
	重要美術品 井戸香炉 銘 此の世	1 口
	三扇蒔絵硯箱	1 合
	桐文釜	1 口

	安南蓮弁文水指	1 口
	菊蒔絵中棗	1 合
	茶杓 共筒 古田織部作	1 本
	狂言袴茶碗 銘 ひき木	1 口
	色絵花唐草文茶碗 野々村仁清作	1 口
	青磁無閑人蓋置	1 個
	独楽盆	2 枚
	蒟醬鳥獸唐草文莩入	1 合
	染付花鳥文火入	1 口
	重要美術品 後水尾天皇宸翰 消息	1 幅
・「水 神秘のかたち」展 2015 年 12 月 16 日 (水) ～2016 年 2 月 7 日 (日)		
サントリー美術館	重要美術品 石清水八幡宮曼荼羅	1 幅
	弁財天十五童子像	1 幅
・「祈りのかたち 八幡」展 2016 年 2 月 2 日 (火) ～3 月 13 日(日)		
九州国立博物館	平家物語画帖 3 帖のうち中帖	1 卷
・「第 102 回 大師会茶会」 2016 年 3 月 28 日 (月) ～3 月 29 日 (火)		
MOA 美術館 於 根津美術館 披錦斎・一樹庵		
	堆朱屈輪文香合	1 合
		計 21 ヶ所 81 作品

#### (16) 画像の貸出

当年度は、254 件の申請を受け、548 点の画像を館外の刊行物や研究者に提供した。

#### (17) 施設の貸与

以下の講演会・茶会等に講堂・茶室等の施設を貸与し、催事への協力を行った。

##### ・講演会 (講堂)

[平成 27 年]

4 月 22 日	板橋区 優法会	団体	35 名
	セントルイス美術館	団体	12 名
4 月 23 日	雑誌『ミセス』	団体	22 名
7 月 3 日	昭和女子大学	団体	24 名
8 月 29 日	ねこまち倶楽部	団体	91 名
9 月 27 日	説話文学会	団体	100 名
10 月 8 日	山梨文化学園	団体	35 名
10 月 9 日	CEOJapan	講演会	30 名
10 月 15 日	フィリップスコレクション	団体	27 名
10 月 20 日	(公財)大師会	講演会	59 名
10 月 22 日	(一社)作楽会	講演会	98 名
10 月 23 日	サラヴィリゾート	団体	23 名
11 月 14 日	アート・ドキュメンテーション学会	学会	79 名
11 月 15 日	BCJA	会議	10 名
11 月 19 日	日本文化交流塾	団体	40 名

[平成 28 年]

1 月 27 日	ポータランド日本庭園	会議	13 名
2 月 12 日	慶應義塾大学国際センター	講義	44 名
3 月 15 日	国学院大学中国学術交流	団体	26 名
			計 18 件 768 名

・茶会（茶室、講堂）

[平成 27 年]

4 月 4・5・6 日	(公財)大師会	茶会	572 名
4 月 19・21 日	みずほプレミアムクラブ	茶会	68 名
4 月 26 日	大日本茶道協会	茶会	147 名
5 月 30 日	東京遠鐘倶楽部 (公財)上田流和風堂	茶会	94 名
6 月 5 日	(株)LEWS 纏	茶会	64 名
6 月 17 日	(公社)日本陶磁協会	茶会	295 名
10 月 18 日	茶道宗徧流関東地区	茶会	283 名
10 月 25 日	(株)青松園	茶会	357 名
11 月 1 日	遠州流茶道 東京支部青年部	見学会	57 名
11 月 3 日	三田福茶会・慶應茶道会	茶会	282 名
11 月 22 日	若葉会	茶会	233 名
11 月 25 日	なごみの会	茶会	51 名
11 月 27 日・28 日	東京宗和会	茶会	143 名
12 月 6 日	学習院大学茶道部	茶会	98 名

[平成 28 年]

1 月 16 日	東京大学裏千家茶道同好会 OB・OG 会	茶会	12 名
2 月 6 日	(株)JTB グローバルマーケティング&トラベル	茶会	21 名
3 月 27・28・29 日	(公財)大師会	茶会	807 名
			計 17 件 3,584 名

## II 収益事業

### 【事業の概要】

#### 1. 不動産事業

日本殖産興業株式会社と持分割合二分の一で建築した「青山サンライトビル」を建物の当館持分を貸店舗として日本殖産興業株式会社に賃貸し、管理は日本殖産に業務委託。他に、サンライトビル日本殖産持分の地代、駐車場の賃料、NTT ドコモの移動通信設備設置料等の収入があった。

### Ⅲ 庶務の概要

#### 1. 役員

平成 28 年 3 月 31 日現在

役職名	勤務	氏名	就任年月日 (初就任年月日)	職歴		
				現職名	最終公務員暦・同一業界	
					関係歴	退職年月日
理事長	非常勤	根津 公一	平成 26 年 5 月 30 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	株式会社東武百貨店 名誉会長	学校教育	なし
常務理事	非常勤	矢野 恵一	平成 26 年 5 月 30 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 常務理事	なし	〃
理事	非常勤	安田 弘	平成 26 年 5 月 30 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	安田不動産株式会社 顧問	なし	〃
〃	非常勤	島尾 新	平成 26 年 5 月 30 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	学習院大学 教授	学校教育	〃
〃	非常勤	渡邊 喜雄	平成 26 年 5 月 30 日 (平成 26 年 5 月 30 日)	株式会社カインドウェア 代表取締役会長	なし	〃
〃	非常勤	板倉 聖哲	平成 26 年 5 月 30 日 (平成 26 年 5 月 30 日)	東京大学東洋文化研究所 教授	学校教育	〃
〃	常勤	波多野 定治	平成 26 年 5 月 30 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 管理部長	なし	〃
〃	常勤	松原 茂	平成 26 年 5 月 30 日 (平成 26 年 5 月 30 日)	公益財団法人根津美術館 学芸部長	なし	〃
		8 名				
監事	非常勤	後藤 康雄	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長	なし	なし
〃	非常勤	中瀬 雅通	平成 25 年 5 月 29 日 (平成 25 年 5 月 29 日)	株式会社三陽商会 相談役	〃	〃
		2 名				

評議員	非常勤	小林 喬	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	富国生命保険相互会社 相談役	保険業	なし
〃	非常勤	正田 修	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	㈱日清製粉グループ本社 名誉会長相談役	なし	〃
〃	非常勤	根津 嘉澄	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	東武鉄道株式会社 取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	秋山 智史	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	富国生命保険相互会社 取締役会長	保険業	〃
〃	非常勤	堀内 光一郎	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	富士急行株式会社 代表取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	望月 朗宏	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	日清紡ホールディングス 株式会社 顧問	なし	〃
〃	非常勤	安田 正	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 評議員	〃	〃
〃	非常勤	有馬 朗人	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	静岡文化芸術大学 理事長	東京大学総長 ・学校教育	平成 5 年 3 月 31 日
〃	非常勤	田村 妙子	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人山種美術財団 理事長	美術館	なし
〃	非常勤	徳川 義崇	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人徳川黎明会 会長	美術館	〃
〃	非常勤	根津 后方子	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 評議員	なし	〃
〃	非常勤	近藤 誠一	平成 26 年 3 月 19 日 (平成 26 年 3 月 19 日)	近藤文化・外交研究所 代表	文化庁長官	平成 25 年 7 月
		1 2 名				

## 2. 職員

平成 28 年 3 月 31 日現在

職名	勤務	氏名	就職年月日	担当事務
館長	非常勤	根津 公一	平成 12 年 1 月 4 日	総括
学芸部長 兼 学芸第一課長	常勤	松原 茂	平成 20 年 10 月 1 日	日本書画史・学芸部総括
学芸第一課主任	常勤	多比羅 菜美子	平成 15 年 5 月 1 日	漆工史・保存環境
学芸第一課	常勤	福島 洋子	平成 21 年 4 月 1 日	墨跡・学芸庶務・図書管理
学芸第二課長	常勤	野口 剛	平成 20 年 10 月 1 日	近世絵画史・情報管理
学芸第二課	常勤	吉岡 明美	平成 21 年 4 月 1 日	染織史・茶会関連
学芸第二課	常勤	下村 奈穂子	平成 26 年 9 月 1 日	陶磁史・情報管理・画像管理
学芸部 特別学芸員	常勤	白原 由起子	平成 20 年 10 月 1 日	仏教美術史
学芸部広報課長	常勤	所 純子	平成 24 年 12 月 1 日	広報全般
学芸部広報課主任	常勤	村岡 香代子	平成 25 年 1 月 1 日	広報
学芸部広報課	常勤	荒川 麻美子	平成 21 年 4 月 1 日	画像管理・商品開発
管理部長	常勤	波多野 定治	平成 19 年 7 月 1 日	管理部総括
管理部次長	常勤	鈴木 康生	平成 13 年 4 月 11 日	設備管理・顧客サービス
管理部	常勤	田中 智子	平成 2 年 9 月 1 日	庶務・出納
管理部	常勤	松井 麻美	平成 21 年 4 月 1 日	商品管理
管理部	常勤	須田 瑛生	平成 26 年 3 月 1 日	総務・会計
管理部	常勤	高室 修	昭和 50 年 3 月 1 日	庭園管理
管理部	常勤	渕野 史郎	平成 24 年 9 月 1 日	警備
		職員 18 名	他に臨時職員 30 名	

顧問	非常勤	矢野 恵一	平成 24 年 12 月 1 日	全般
顧問	常勤	西田 宏子	昭和 56 年 4 月 1 日	学芸部
顧問	非常勤	宇田川 真紀雄	平成 12 年 4 月 1 日	管理部
		顧問 3 名		

### 3. 役員会

#### (1) 理事会

開催日 平成 27 年 5 月 13 日 (水) 13 時 00 分～14 時 00 分

場 所 根津美術館 講堂

#### 議事事項

- ① 平成 26 年度事業報告の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 平成 26 年度正味財産増減決算の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。

#### 報告事項

- ① 理事長の業務の執行状況について報告があった。
- ② 常務理事の業務の執行状況について報告があった。
- ③ 4 月 24 日 (金) に「燕子花と紅白梅」展の行幸啓があった旨、報告があった。
- ④ 第 14 回理事会日程について、平成 27 年 7 月 29 日 (水) 10 時～10 時 30 分に開催する予定である旨、報告があった。
- ⑤ 中瀬監事より、美術品棚卸について提案があった。
- ⑥ 来年度以後の展示計画について、次回の理事会までに検討する旨、報告があった。

開催日 平成 27 年 7 月 29 日 (水) 10 時 00 分～10 時 30 分

場 所 根津美術館 NEZUCAFÉ

#### 議事事項

- ① 諸規定改定・制定の件  
審議の結果、就業規則改定、及び育児・介護休業規程の制定について、出席理事全員一致で承認可決した。

#### 報告事項

- ① 平成 28 年度展示スケジュールについて報告があった。
- ② 「燕子花と紅白梅」展について報告があった。
- ③ 理事長の業務の執行状況について報告があった。
- ④ 常務理事の業務の執行状況について報告があった。
- ⑤ 江戸のダンディズム展について報告があった。
- ⑥ 外周道路工事について報告があった。

開催日 平成 27 年 11 月 18 日 (水) 10 時 00 分～10 時 30 分

場 所 根津美術館 講堂

#### 議事事項

- ① 特定個人情報取扱規程制定の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り、出席理事全員一致で承認可決した。
- ② 青山茶会会則改定の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り、出席理事全員一致で承認可決した。

#### 報告事項

- ① 平成 27 年度予算進捗状況について報告があった。
- ② 理事長の業務の執行状況について報告があった。
- ③ 常務理事の業務の執行状況について報告があった。

開催日 平成 28 年 3 月 16 日 (水) 13 時 00 分～14 時 00 分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

- ① 平成 28 年度事業計画の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 平成 28 年度正味財産増減予算の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ③ 施設整備積立金・美術品購入保存基金繰入の件  
質疑応答を経て審議の結果、みずほ F G 株式 285,000 株を施設整備積立金に、235,000 株を美術品購入保存基金に繰り入れることを、出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

- ① 理事長の業務の執行状況について報告があった。
- ② 常務理事の業務の執行状況について報告があった。
- ③ 平成 29 年度以降の展示検討委員会を本日開催する旨、報告があった。
- ④ 根津美術館本館新築工事の杭工事調査結果について報告があった。
- ⑤ マイナンバー制度の実施状況について報告があった。

(2) 評議員会

開催日 平成 27 年 5 月 29 日 (金) 13 時 00 分～14 時 00 分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

- ① 平成 26 年度事業報告の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 平成 26 年度正味財産増減決算の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。

報告事項

- ① 4 月 24 日 (金) に「燕子花と紅白梅」展の行幸啓があった旨、報告があった。
- ② 美術品棚卸計画について報告があった。
- ③ 次回評議員会を平成 28 年 3 月 23 日 (水) 13 時～14 時に開催する予定である旨、報告があった。

開催日 平成 28 年 3 月 30 日 (水) 13 時 00 分～14 時 00 分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

- ① 平成 28 年度事業計画の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 平成 28 年度正味財産増減予算の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ③ 施設整備積立金・美術品購入保存基金繰入の件  
質疑応答を経て審議の結果、みずほ F G 株式 285,000 株を施設整備積立金に、235,000 株を美術品購入保存基金に繰り入れることを、出席理事全員一致で承認可決した。

#### 報告事項

- ① 理事長の業務の執行状況について報告があった。
- ② 常務理事の業務の執行状況について報告があった。
- ③ 平成 29 年度以降の展示検討委員会について報告があった。
- ④ 根津美術館本館新築工事の杭工事調査結果について報告があった。
- ⑤ マイナンバー制度の実施状況について報告があった。
- ⑥ 次回評議員会を平成 28 年 5 月 25 日（水）13 時～14 時に開催する予定である旨、報告があった。

#### IV 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。